



[発行]一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会  
 [県事務局]〒634-0061  
 奈良県橿原市大久保町 320-11  
 奈良県社会福祉総合センター内  
 ☎ 0744-29-0150 Fax 0744-29-0151  
 HP <http://ikuseikai.sakura.ne.jp/wp/>  
 [発行責任者] 理事長 阪口 貴子  
 [編集責任者] 有働 和美



### 目次

#### 1 ご挨拶

一般社団法人  
 奈良県手をつなぐ育成会  
 理事長 阪口 貴子

全体会(2p-5p)

#### 2・主催者挨拶

近畿手をつなぐ育成会  
 連絡協議会  
 会長 後藤 久美子 様

#### ・中央情勢報告

一般社団法人  
 全国手をつなぐ育成会連合会  
 会長 久保 厚子 様

#### ・奈良医療物語

#### 3 講演

・医療ワーキングチームの取組  
 組みとコロナ禍での対応  
 大和郡山育成福祉会ひかり園  
 統括施設長 竹内 聖典 氏

・やすらぎの丘・たかとりワークスの  
 医療的ケアと日中活動の  
 保証の取組み  
 社会福祉法人  
 奈良県手をつなぐ育成会  
 相談支援専門員 北 好美 氏

#### 4・施設での

コロナ感染症発生の対応  
 社会福祉法人  
 奈良県手をつなぐ育成会  
 理事長 山岡 亨 氏  
 総括

#### 5・大会決議文

#### 6 本人大会

#### 7 本人大会決議文

#### 8・来賓紹介

・第61回近畿知的障がい者  
 福祉大会を終えて  
 実行委員長 山本久美子  
 ・編集後記

### ご挨拶

理事長 阪口貴子



令和4年10月23日(日)、第61回近畿知的障がい者福祉大会(併催 第51回一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会研究大会)を奈良県橿原市で無事に開催することができました。公私ともにご多用のところご臨席を賜りました御来賓の皆様方、近畿各地よりご参加をいただいた皆様方、心より厚く御礼を申し上げます。

本大会は、会場での参加とオンライン配信を組み合わせたハイブリッド開催とさせていただきます。10月26日から1カ月間のアーカイブ配信も実施し、来場の方だけでなく多くの方にご覧いただけたと思います。



大会主題は「知的・発達障がいのある人の地域医療の充実に向けて～コロナ禍でのリスタート2022～」としました。テーマの導入として、動画「奈良医療物語」をご覧いただき、2015年より取り組んできた「親の高齢化、本人たちの医療課題」を紹介し問題提起しています。その課題解決に向けて、奈良県育成会

関係の障害者支援施設等での取り組みを紹介させていただきました。

新型コロナ感染症の第7波では、行動制限もなくなり感染対策を講じてのwithコロナ時代へと動いています。新たな変異株の発生も見据えて、感染症とわが子らの地域医療のあり方を個々の課題として引き寄せ、「在宅での医療的ケア体制の整備」「かかりつけ医の確保」「総合的な医療相談支援のあり方」「障害特性に配慮した医療提供体制の整備」等について、改めて考えるリスタートの機会にいただければ幸いと存じます。

医療が必要になっても、親がいなくても、地域で住み慣れた場所で、安心して医療が受けられることを願っています。そのためには、医療と福祉の連携が不可欠です。当会は、医療と福祉の円滑な連携に向けて、知的・発達障がいのある人の特性理解への啓発活動と共に、一人ひとりの人格と個性とその命の尊厳を尊重する地域共生社会の実現を目指します。まずはかかりつけ医の確保と配慮ある受診体制の整備を進めてまいります。

結びに、本大会にご後援いただきました奈良県行政はじめ関係機関様、ご厚志をくださいました法人・事業所の皆様、会員の皆様、写真を提供下さいました華嚴宗大本山東大寺様、光明宗法華寺門跡様に感謝申し上げます。開催を終えてのご挨拶といたします。

第8波への感染拡大が見られます、新型コロナ感染症の1日でも早い終息を願います。

(令和4年11月28日)



第61回 近畿知的障がい者福祉大会